

沖縄労働局長がベストプラクティス企業への 職場訪問を実施しました。

訪問日時：令和元年11月21日（木）

訪問企業② 琉球製罐株式会社

本社所在地 名護市字屋部854番地の11
代表者 代表取締役社長 櫻井 秀樹
資本金 8,235万円
従業員数 68人（2019年11月現在）
業務内容 金属、プラスチックの材料を素材とした
包装容器の製造・販売等



訪問概要

事業場における取組状況についてご説明を受け、意見交換の後、工場内の職場巡視に立ち合わせていただきました。

取組状況

○ 社長メッセージ

- 社員の「働きがい」がある職場とするため、安全を最優先とすることが出発点。
- アウトプットを減らすことなく、時間外労働の削減を行うことが一つの課題である中、時間外労働の削減と健康経営の推進について、年度当初の活動方針によって全社員に対して発表し、会社からのメッセージとしている。



○ 時間外労働の削減に向けた取組

- 工場内での勤務の態様を細かく確認したところ、繁忙期以外の時期について、少人数の体制でもアウトプットにはあまり影響がないことに着目し、勤務シフトを細分化し、組み合わせを工夫することにより、作業体制の効率化を行った。
- それにより、従来、2交代制で実施していたところ、増員を行うことなく、3交代制も含めた勤務形態とすることで、時間外労働の削減を実現。
- その他、毎月の時間外労働の実績と残時間数を可視化し、管理職と共有。

○ 健康経営の推進

- 社員の健康促進のため、地元大学との連携により、看護学科の生徒を派遣してもらい社員の健康チェックを行ってもらう取組を実施。

